

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【道祖土小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策	
目標	策
知識・技能	R5年度さいたま市学習状況調査の国語の「知識・技能」に関する領域において、R4年度の自校の結果より3pt向上させる。
思考・判断・表現	R5年度さいたま市学習状況調査自校結果より国語・算数の「思考・判断・表現」の平均無解答率を1割下げる。 R5年度さいたま市学習状況調査の国語・算数において「思考・判断・表現」を昨年度の自校結果より3pt上げる。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度さいたま市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を90%以上にする。

次年度に向けて
(3月)

<小6・中3>(4月~5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)	
思考・判断・表現	職員会議・校内研修等	
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	「知識・技能」において、「国語」では、基礎的な言葉の意味の理解力が課題である。「算数」では、図形の意味や性質についての理解力が課題が見られた。
思考・判断・表現	「思考・判断・表現」において、「国語」「算数」に共通して、自分の考えをまとめたり、話の中心を捉えたり、話し手の考えと比較して自分の考えを持ったりする読解力が課題が見られた。それらの無解答率も高い。
主体的に学習に取り組む態度	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が目標値に達しなかった。課題設定や協働、振り返りを工夫して、より主体的な学びになるよう授業改善を進める。

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)
- ③分析共有(児童生徒の実態把握)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析		
小3		小4
小5		小6

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)	
目標	策
知識・技能	「ドリルパーク」等を活用し、言語や算数の基本的な内容等の反復・習熟に取り組む。漢字や熟語の習得にあわせて、送り仮名を正しく理解させる手立てを取り入れていく。
思考・判断・表現	読書活動を推進していくとともに、授業において読解力向上に向けた取組を行い、読むだけでなく、まとめる力や発信する力を育てる授業の工夫改善をする。
主体的に学習に取り組む態度	変更なし